本日の説明内容

・道路計画の概要

・都市計画変更 の内容

・都市計画変更 のスケジュール

・市民説明会について

道路計画の概要

札幌圏連携道路

- 札幌西区～恵庭までの
  生活拠点、産業地を結び
  産業連携の軸を担う
  『道央圏連絡道路』
  （国道337号）を補完
- 市町村相互の連携を強化

道路計画の概要

道路としての必要性

- **物流ネットワークの強化**
  ～石狩湾方面への時間短縮
- **地域間連携の強化**
  ～通勤、観光などに寄与
- **防災ネットワークの強化**
  ～「国道275・337」との2ルート
- **渋滞個所の緩和**
  ～交通量の分散

道路計画の概要

～都市計画の方針における位置づけ～

都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

（令和3年3月23日　北海道告示 第230号）

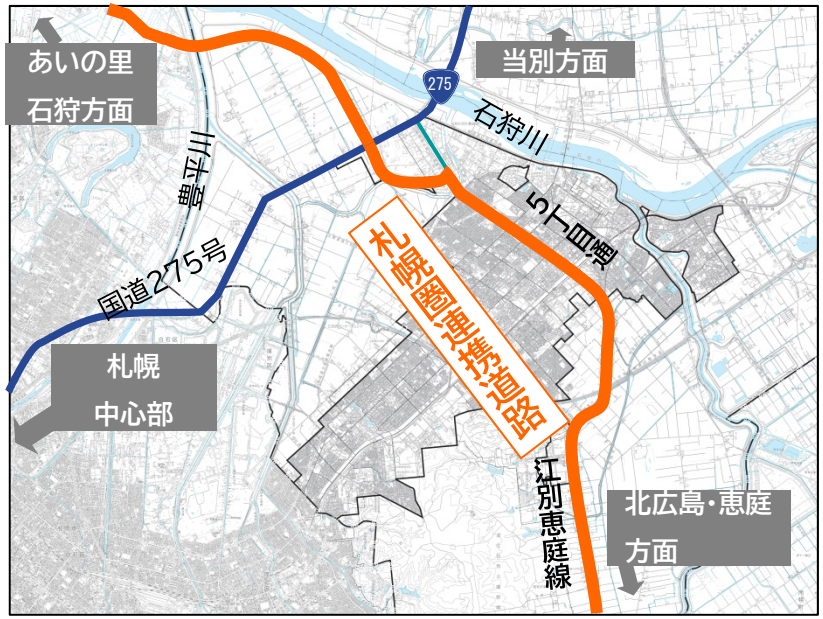
「主要な施設の配置の方針」に、骨格道路のうち、連携道路として配置すると位置付けられている。
また、「都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針」に、おおむね10 年以内に実施を予定する主要な事業として位置付けられている。

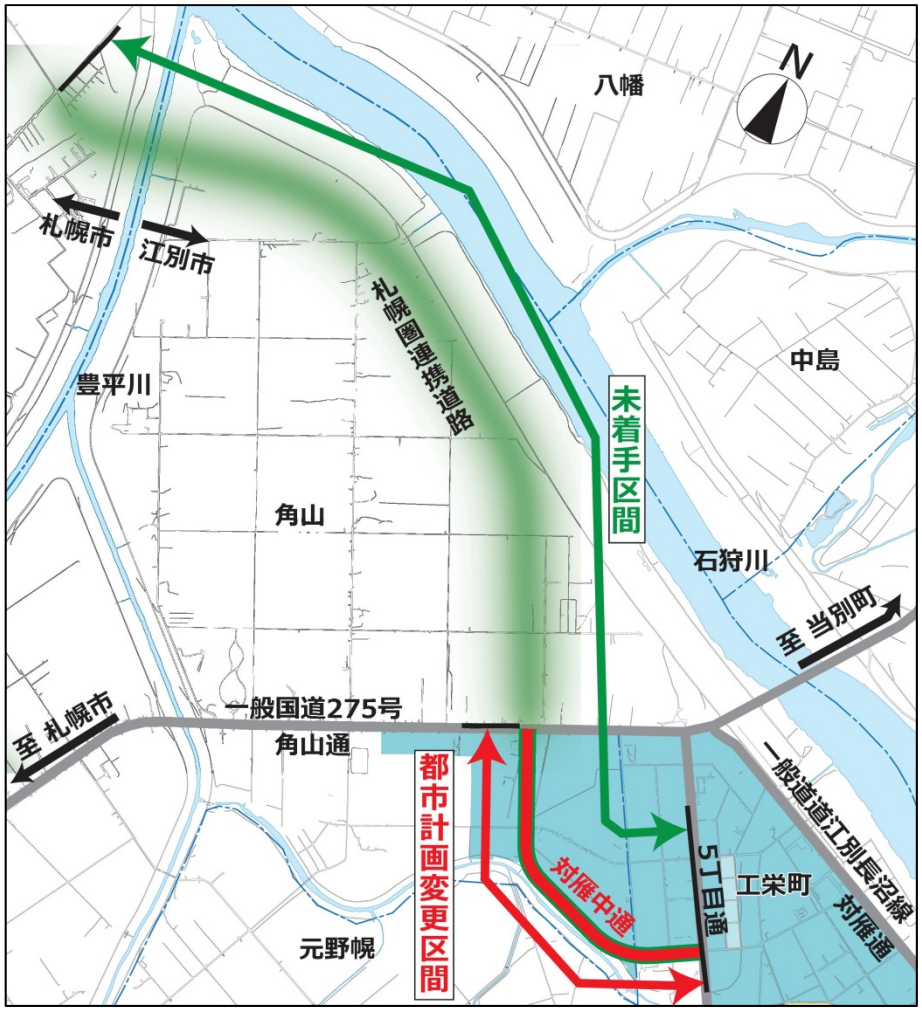
江別市都市計画マスタープラン2014［改訂版］

「都市施設整備の方針」に、道央都市圏の骨格として、各市町村相互の連携を強化する役割を担う広域幹線道路として位置付けられている。

道路計画の概要

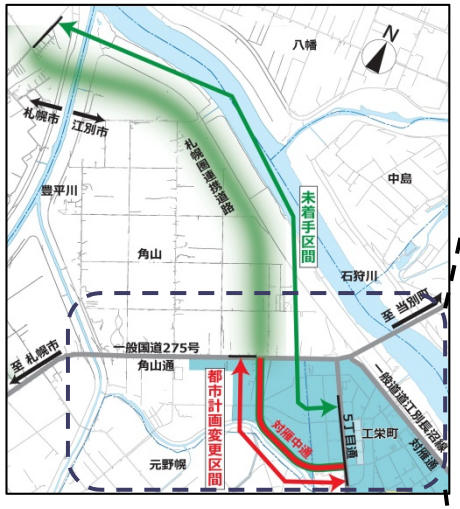
札幌圏連携道路のルートを考慮し、既存の都市計画道路を変更する。
未着手区間のうち、工業団地内の市街地区間（対雁中通：国道275号～5丁目通）の都市計画変更を行う。

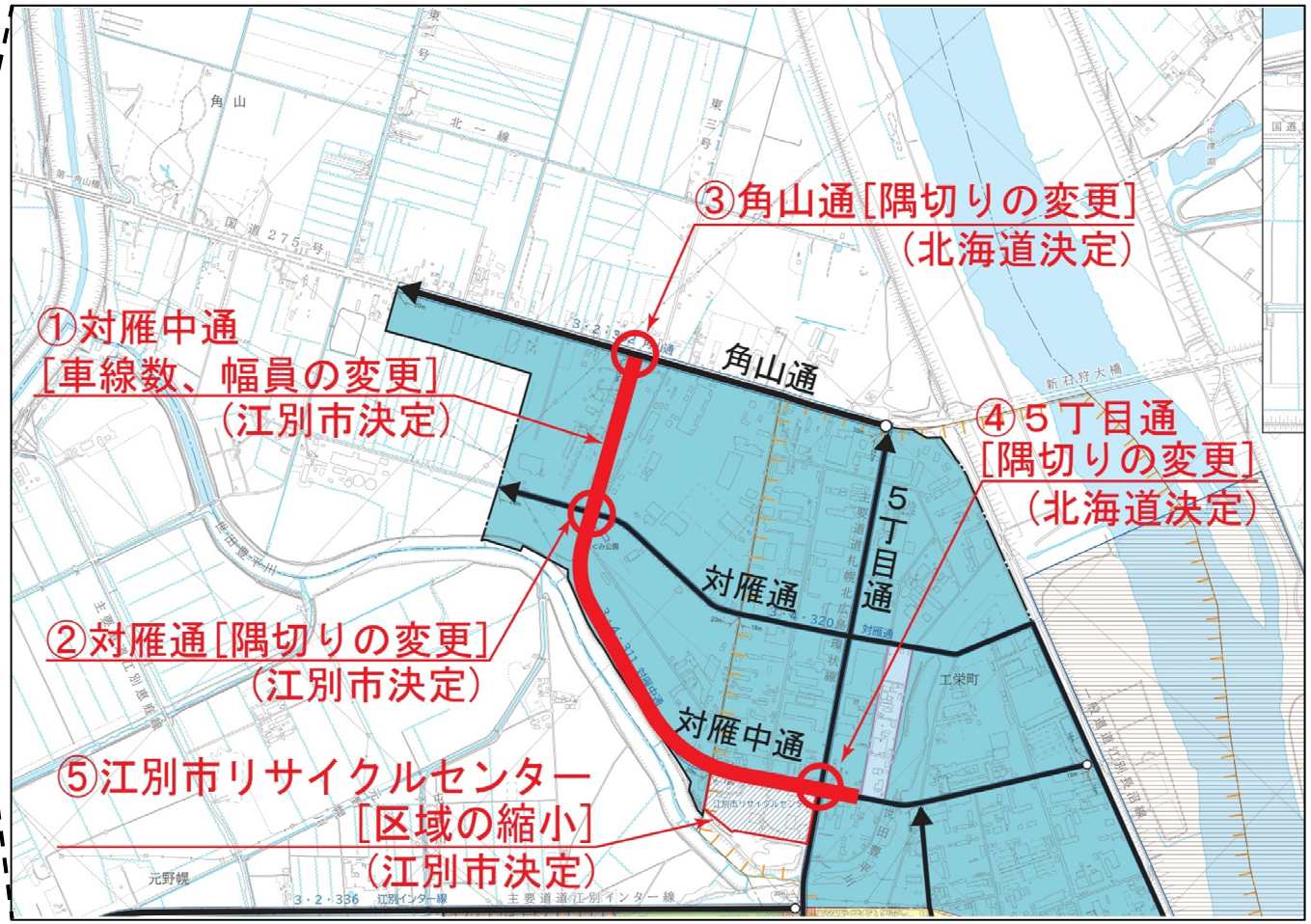




都市計画変更の内容

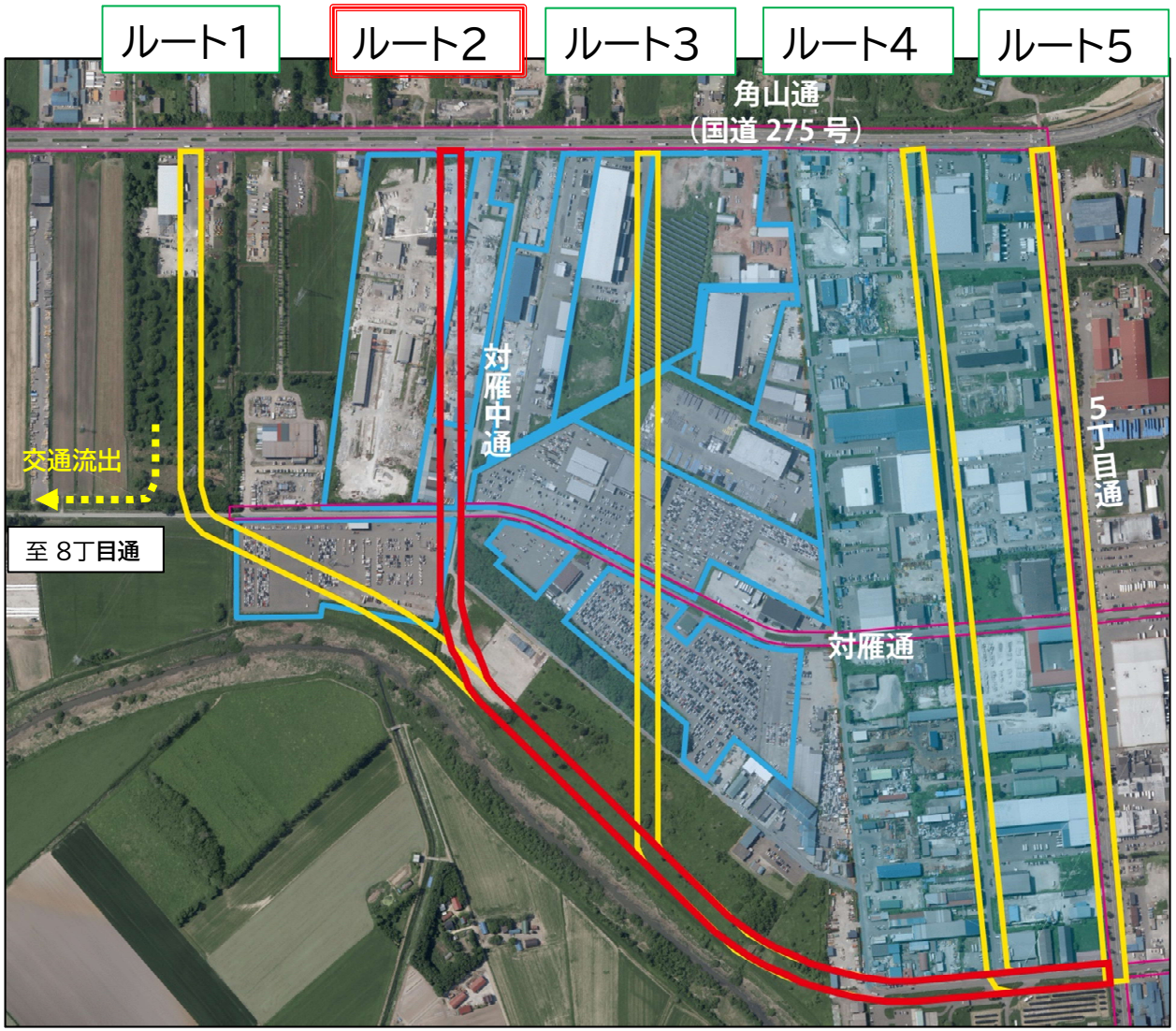
札幌圏連携道路の本線にあたる対雁中通のほか、下記のとおり都市計画変更を行う。





都市計画変更の内容

角山通（国道275号）南側のルートは以下の通り比較検討した。⇒「ルート2」を採用



ルート1

8丁目通（市街地）に交通が流出

ルート2

大型施設が支障とならず既存土地利用への影響が少ない

工業団地内の幹線として骨格道路の役割を担い、バイパス機能を備えた「対雁中通」の機能も兼ねる

ルート3

多数の一団の土地を分断

ルート4

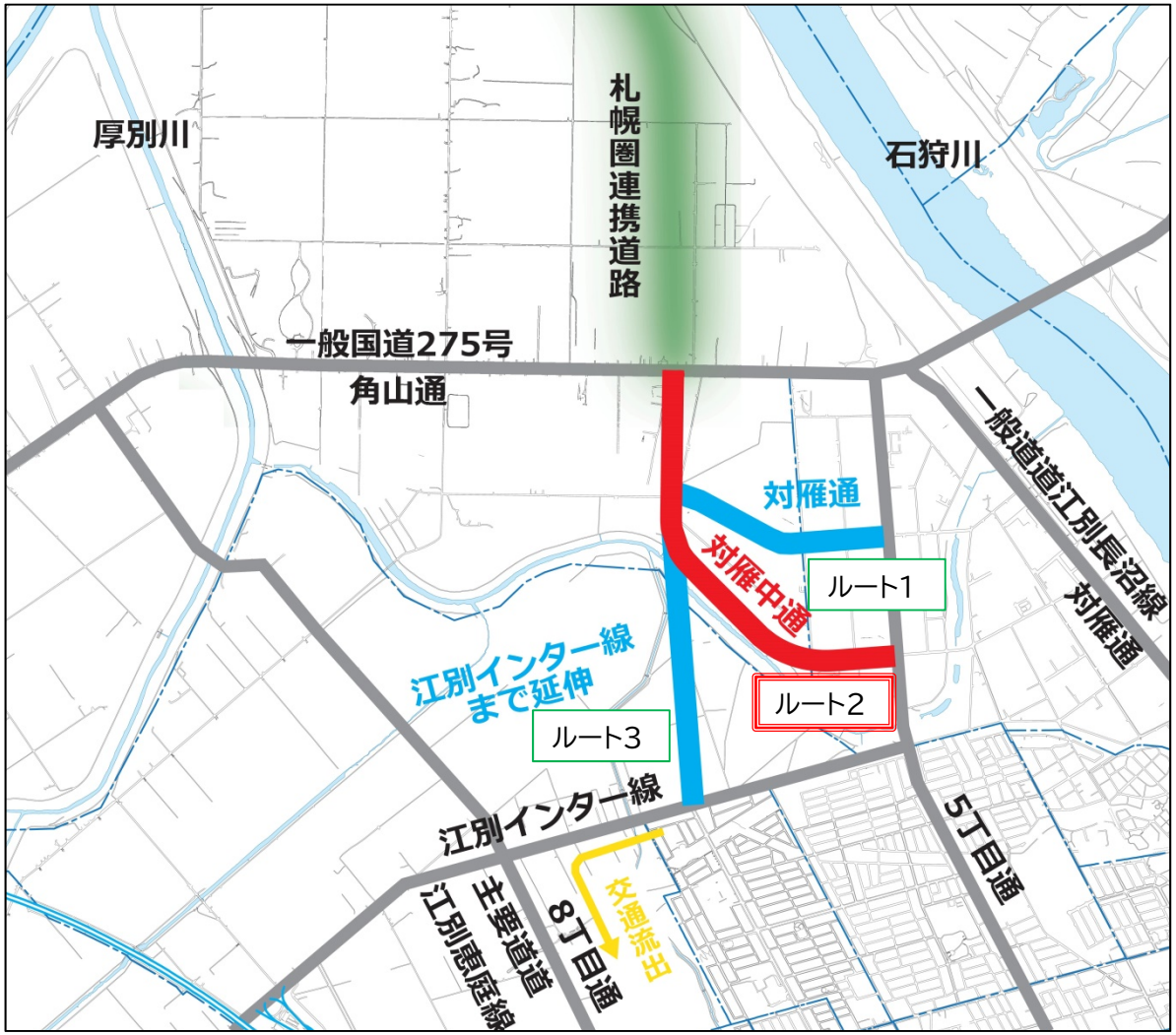
高密度に立地する多数の企業が支障となる

ルート5

5丁目通への交通量が増加し、近接する交差点の渋滞に繋がる

都市計画変更の内容

角山通（国道275号）南側のルートは以下の通り比較検討した。⇒「ルート2」を採用
（北側のルートは、南側のルートを基に、交通量や農地への影響を考慮し検討。）



ルート1

多数の大型施設が支障となる

ルート2

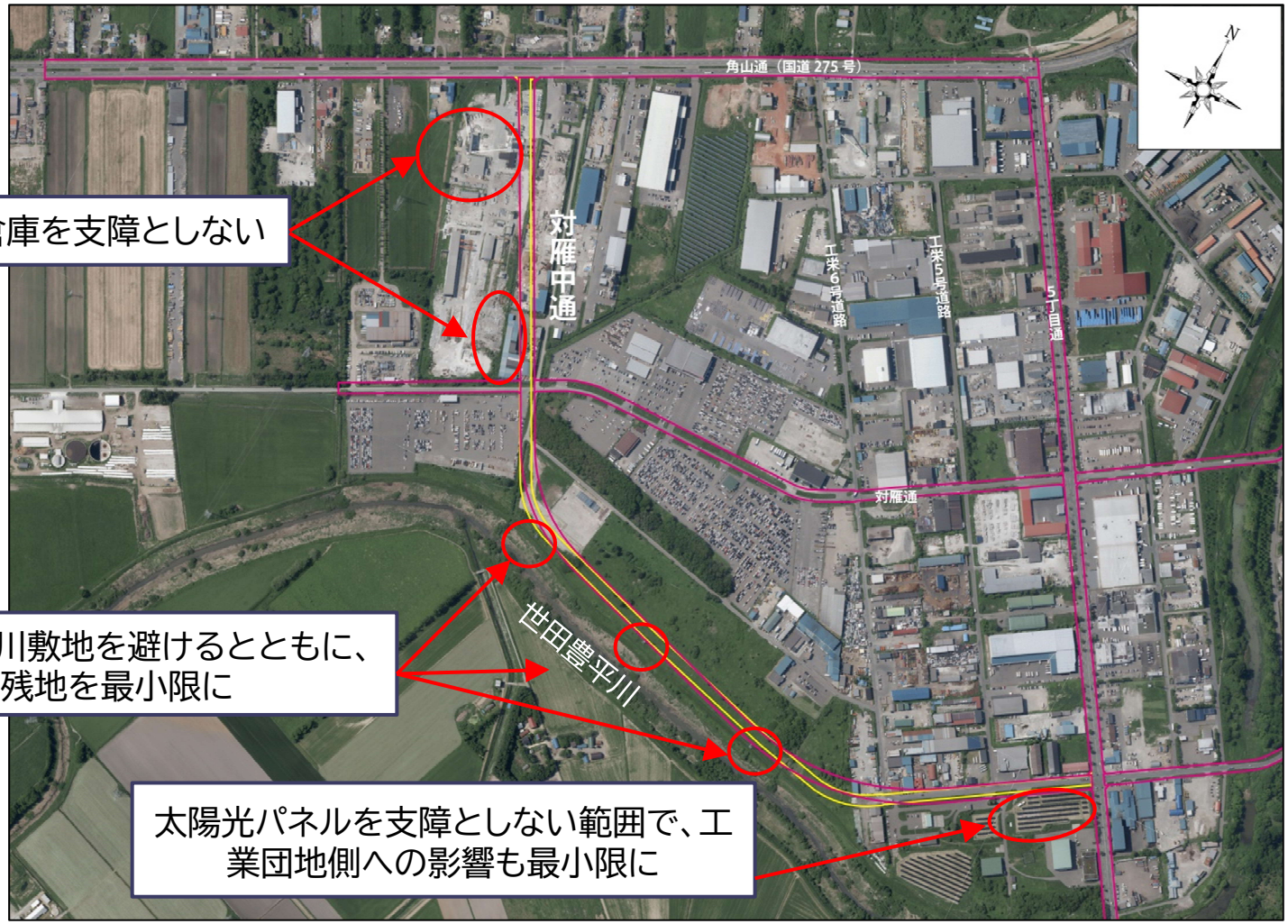
物件の支障や市街地への交通流出の影響が少ない

ルート3

市街地（8丁目通）に交通が流出する

都市計画変更の内容

角山通（国道275号）南側の線形決定要素は以下の通り。



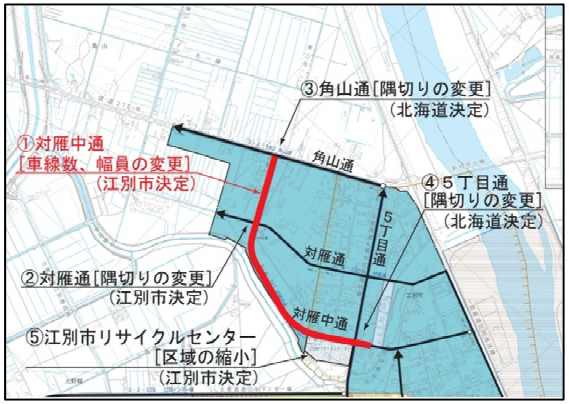
プラントや大型倉庫を支障としない

鉄塔や河川敷地を避けるとともに、残地を最小限に

太陽光パネルを支障としない範囲で、工業団地側への影響も最小限に

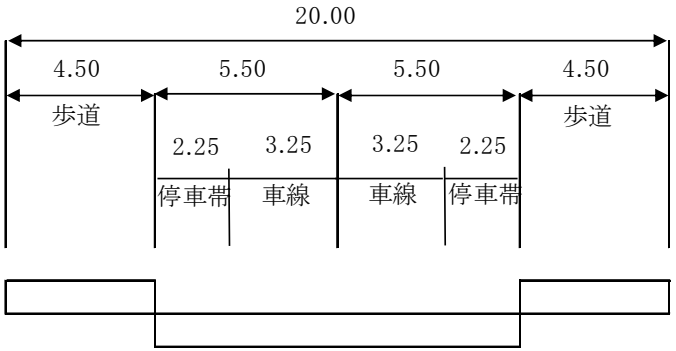
都市計画変更の内容

札幌圏連携道路の本線にあたる対雁中通の車線数及び幅員の変更を行う。



①対雁中通(札幌圏連携道路本線)

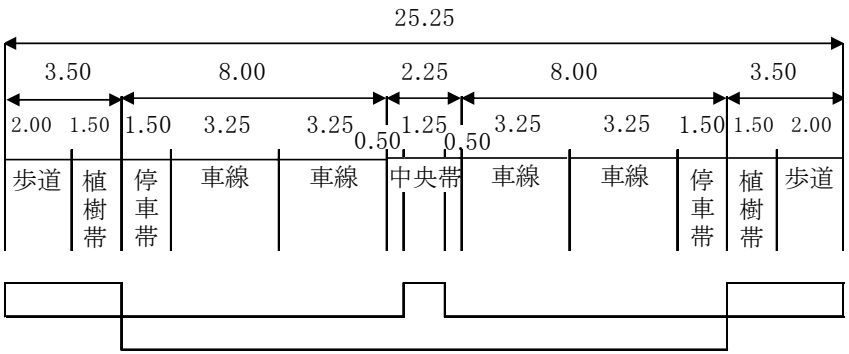
当初



車線数:2車線⇒4車線
幅員　:20m⇒25.25m

交差方式は平面交差
から変更なし

変更後

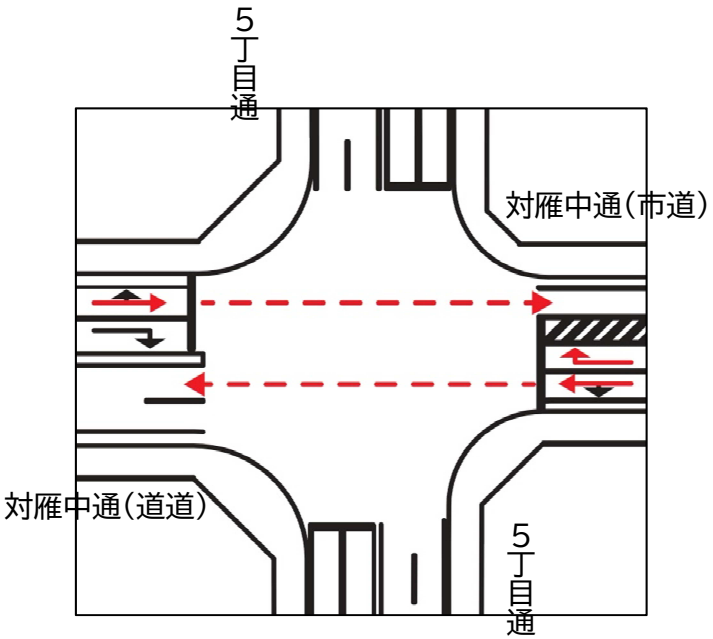


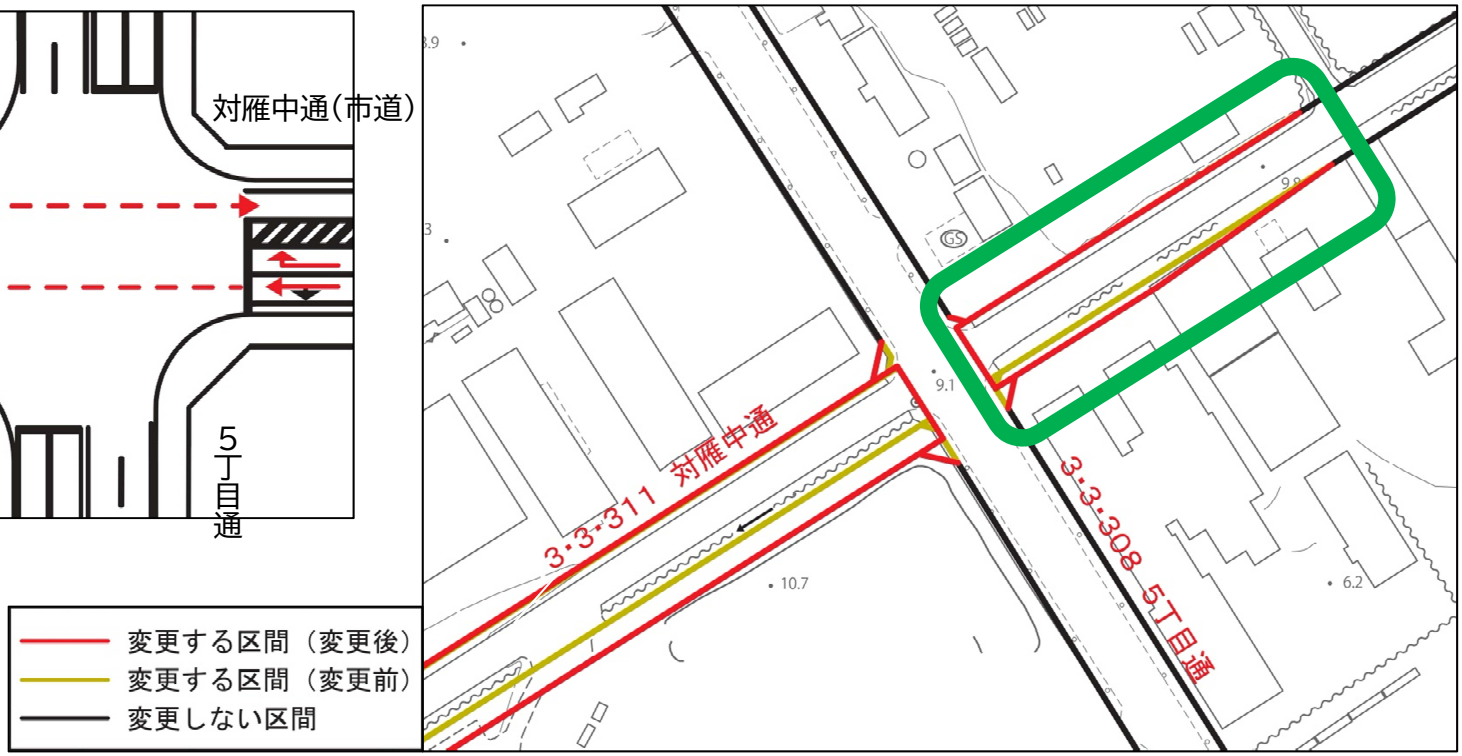
都市計画変更の内容

5丁目通より東側については、直進車線の中心を通すため、摺りつけ部分の変更を行う。

①対雁中通（市道部分）

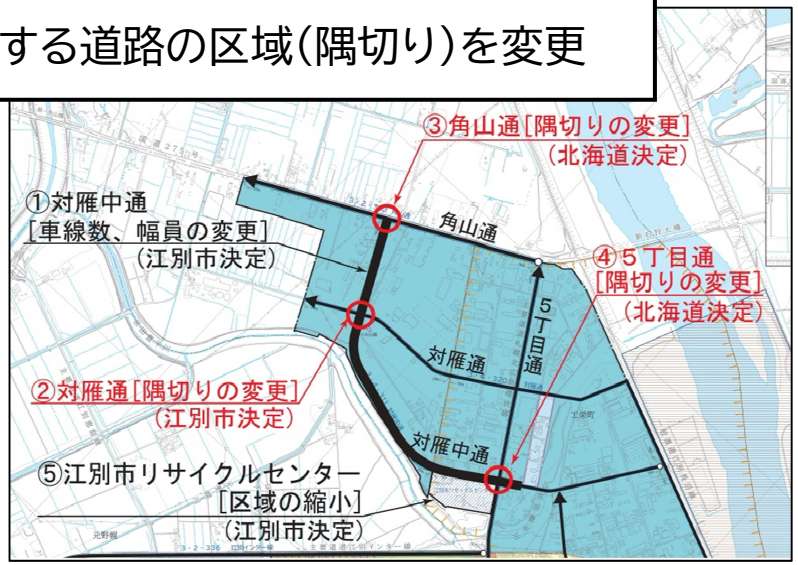
幅員　:18m⇒21.25m

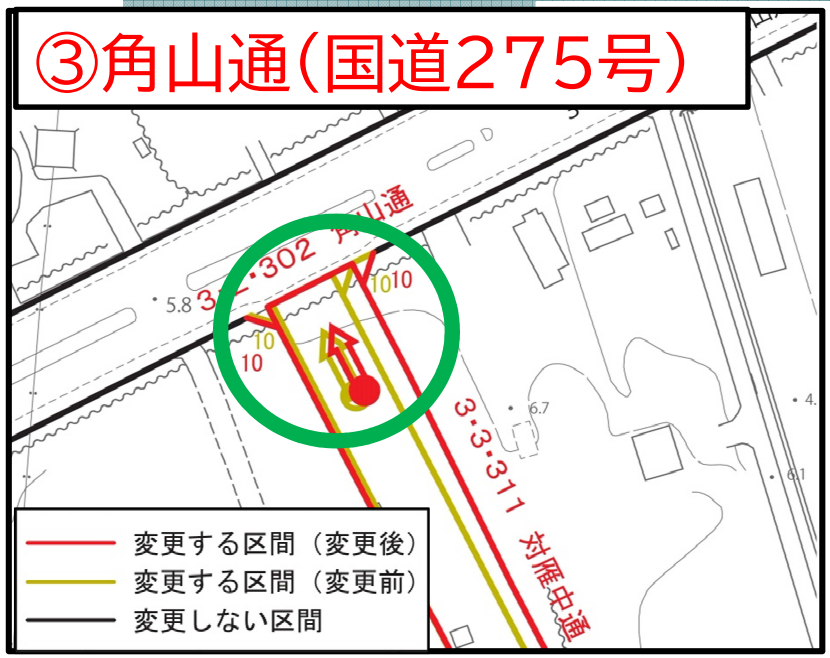


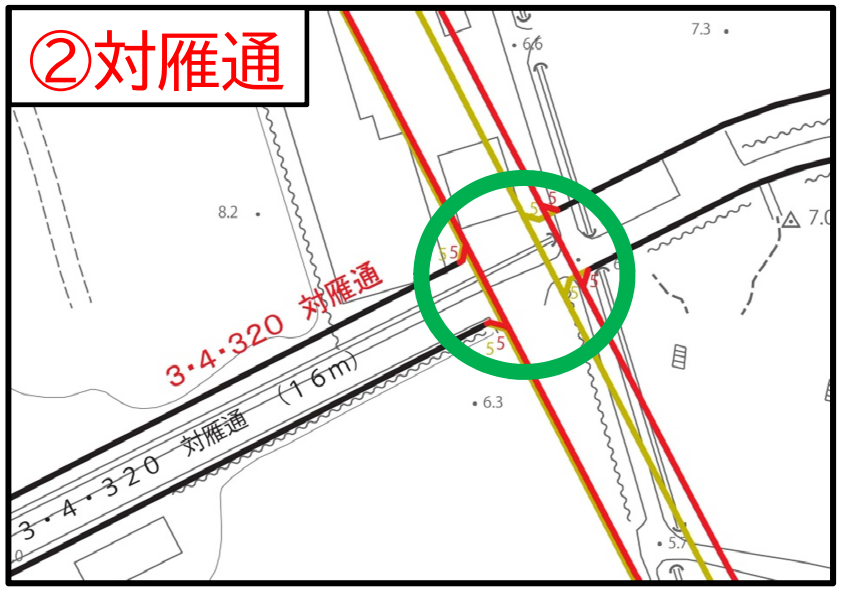


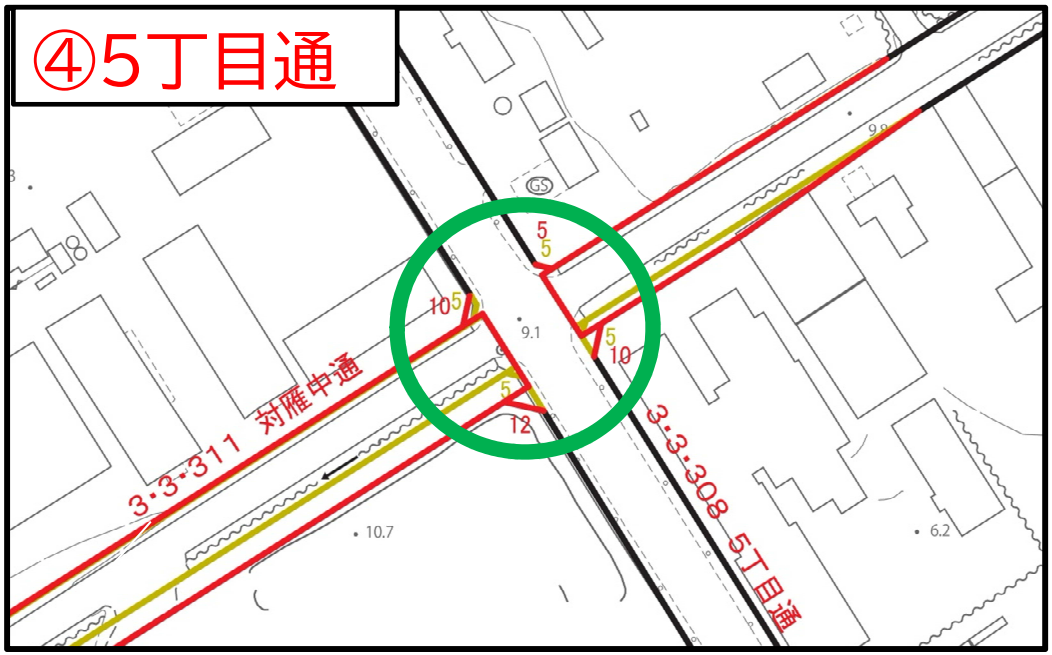
都市計画変更の内容

接続する道路の区域(隅切り)を変更



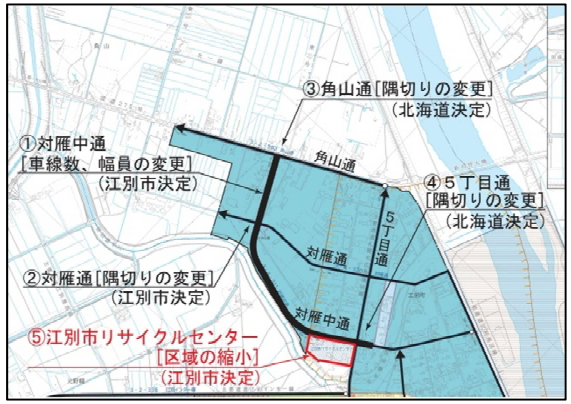




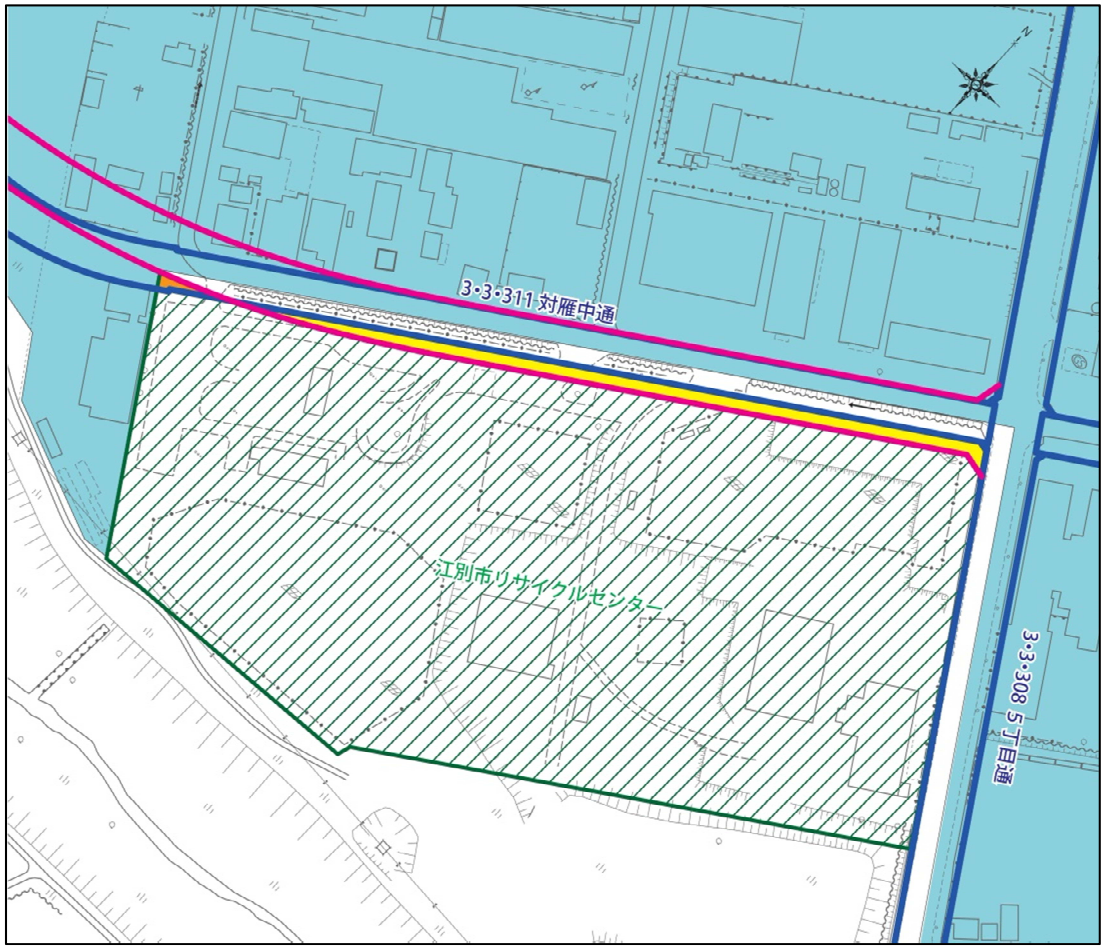


都市計画変更の内容

対雁中通の拡幅に合わせ、江別市リサイクルセンター（その他の処理施設）の区域の縮小を行う。

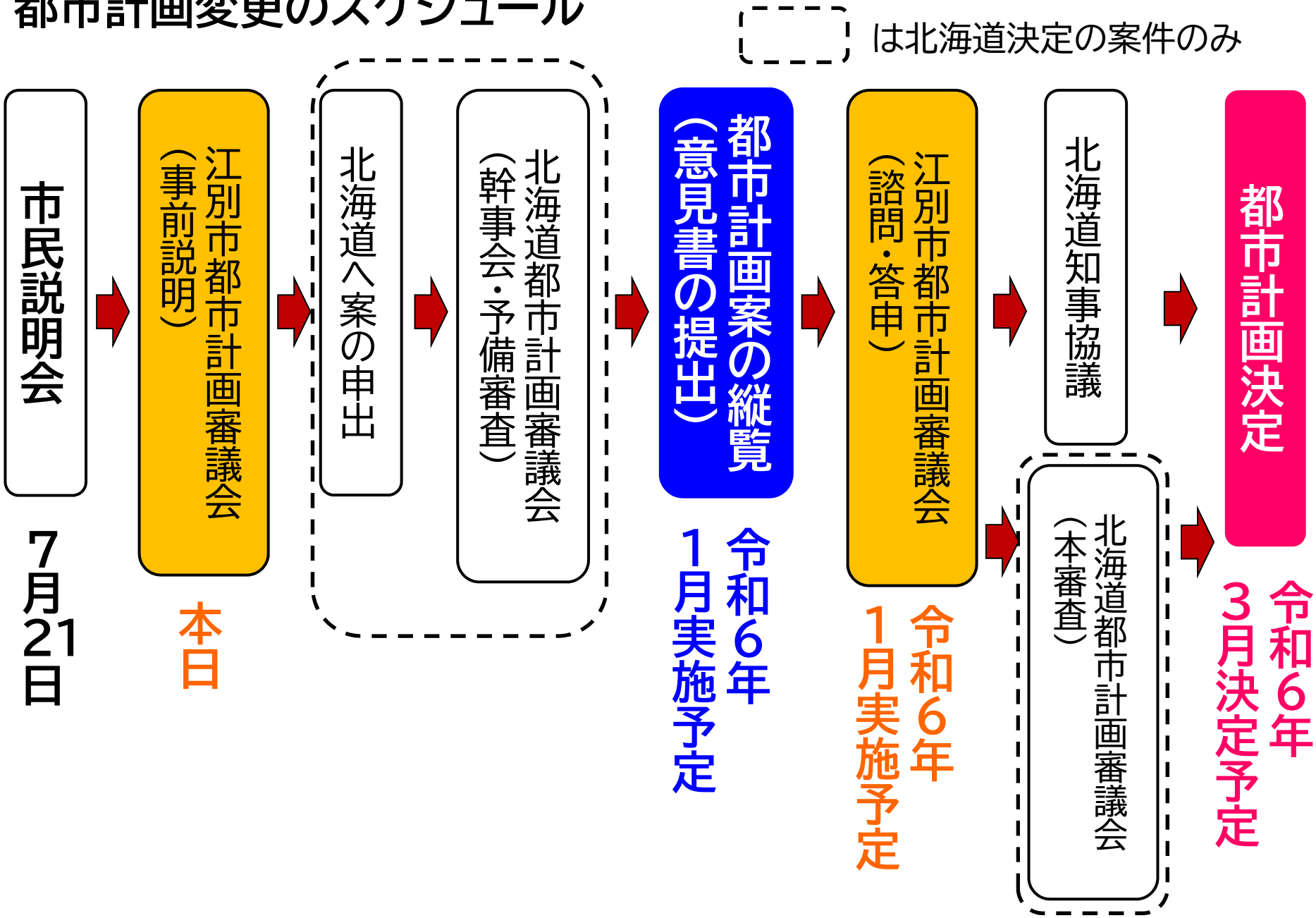


⑤江別市リサイクルセンター



凡例
- リサイクルセンター区域
- リサイクルセンター区域（追加部分）
- リサイクルセンター区域（除外部分）
- 都市計画道路（変更後）
- 都市計画道路（変更前）

都市計画変更のスケジュール



市民説明会について

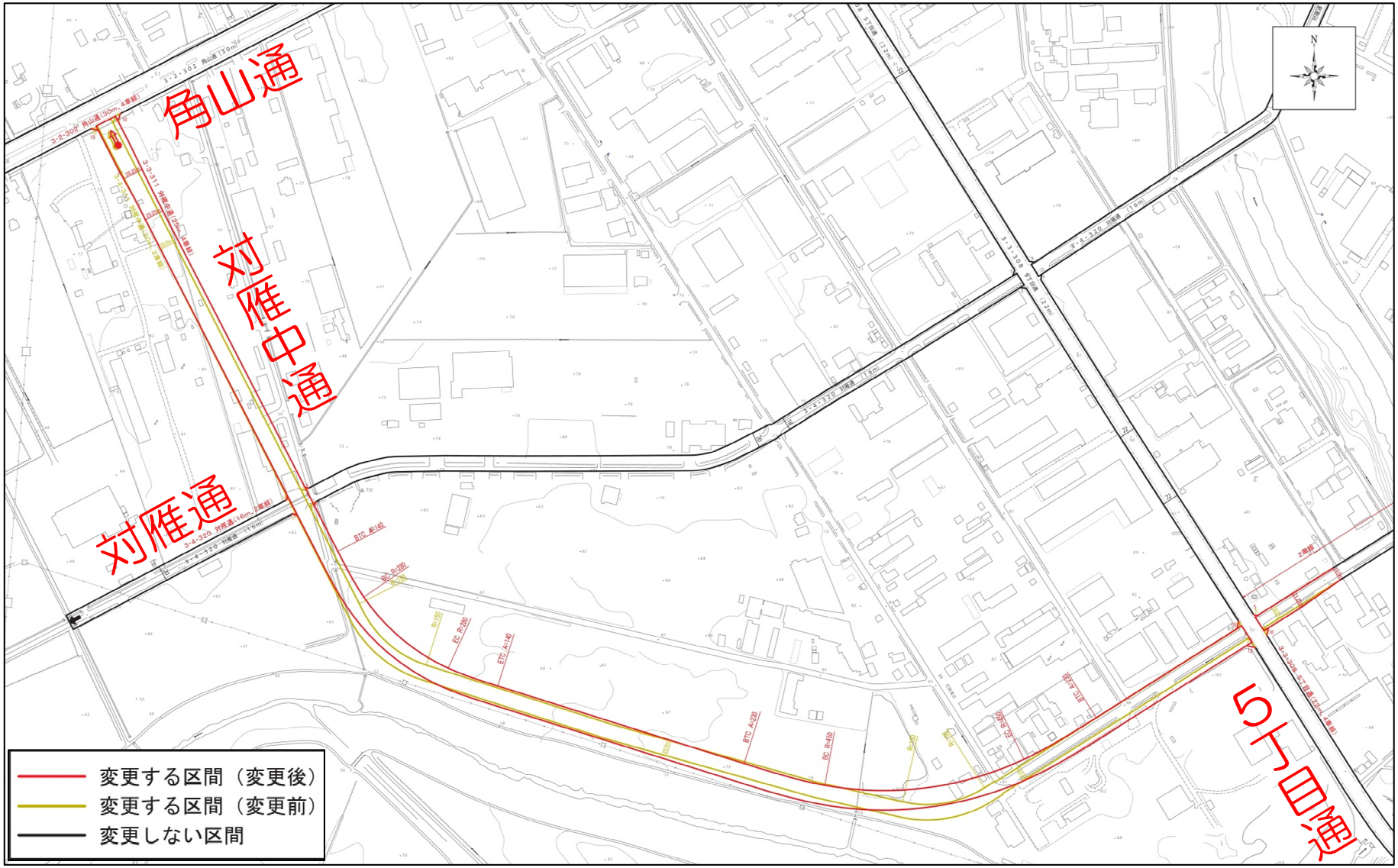
◆ 道道札幌北広島環状線の整備計画及び都市計画の変更に関する説明会

日　　時	：	令和５年７月２１日（金）　午後６時３０分～
場　　所	：	江別市民会館　２１号室
参加者数	：	４７名

市民説明会について

◆ 説明会質疑概要

質　問	回　答
【都市計画の変更ついて】	
道路区域内の土地の売買、名義変更、建物の建設等はいつ頃からどのような制限が発生するでしょうか。	都市計画決定後は、区域内での建築行為に制限がかかります。簡単に除去できる木造住宅や二階建て以下の建物は、都市計画法上の許可を得れば建設可能ですが、道路計画がある場所なので控えていただきたい。また、都市計画決定後、国の補助をもらうための事業認可を行いますが、事業認可以降は、売買等に関しても制限がかかります。【江別市】
【道路整備計画について】	
用地買収で生じる残地は不便な状態で残ることも考えられますが、どのような対応になるでしょうか。	残地については、用地測量や物件調査等の詳細調査後、損失補償基準に基づき、関係地権者と協議させていただきたい。【北海道】
南工区の完成はいつになるでしょうか。	令和16年度の完成を目指します。【北海道】
道路の完成後、交通量は時間帯毎にどの程度となるでしょうか。	交通量は、約12,000台を想定しておりますが、時間帯ごとの台数は不明です。【北海道】

その他のご意見、ご要望
用地買収により、敷地が狭まれば、敷地内での大型車の回転や駐停車等に支障が生じるほか、雪の堆積場所が無くなるということを認識していただきたい。
歩道の街路樹は、大型車の出入りに支障となるので、工事の際は、相談に乗っていただきたい。

都市計画変更の内容